

しんぶん赤旗 2018年10月19日(金)

憲法99条違反、憲法私物化の安倍政権に憲法論じる資格なし 臨時国会で憲法審査会動かすな 志位委員長が会見

日本共産党の志位和夫委員長は18日、国会内で記者会見し、臨時国会（24日召集）に自衛隊明記の9条改憲を含む自民党改憲案を提出するとの安倍晋三首相の表明について、「もとより改憲には反対だ」としつつ、改憲の内容以前の問題として、憲法99条の憲法尊重擁護義務違反に加え、憲法を私物化している安倍内閣には「憲法を論じる資格はない」と厳しく批判しました。

志位氏は、この間の安倍首相による9条改憲への暴走は「常軌を逸している」と強調。首相が9月の自衛隊高級幹部会同や今月14日の観閲式で9条改憲を事実上宣言したのは、「自民党総裁としてではなく、内閣総理大臣としての発言であることは明瞭だ。政治的中立性が最も厳格に求められる実力組織である自衛隊



(写真) 記者会見する志位和夫委員長＝18日、国会内

に、その最高指揮官の内閣総理大臣が持論である改憲の号令をかけるなど、自衛隊の最悪の政治利用であり、自衛隊を自らの私兵として扱うような態度だ。絶対にやってはいけない異常な暴走だ」と批判。「閣僚の憲法尊重擁護義務を規定した憲法99条違反であることは明瞭だ」と強調しました。

志位氏は、安倍首相が昨年5月に改憲宣言をしたもとも、同会同（昨年9月）の訓示では改憲発言をしていなかったと指摘。「今年はまったく抑えがきかなくなっている。これは一種の焦りだと思うが、大変に危険な状況だ」と警鐘を鳴らしました。

また志位氏は、この間の報道各社の世論調査で、秋の臨時国会への自民党改憲案提出に「反対」が多数だと紹介し、「国民は今度の臨時国会で改憲を進めることなど誰も望んでいない。国民が誰も望んでいないところで、政権与党・内閣総理大臣がひとり、改憲へ暴走するというのは、憲法の私物化だ」と厳しく批判しました。

その上で、「憲法99条を平気で破るような政権に、憲法審査会で憲法を論じる資格はない」と強調し、臨時国会で憲法審査会を動かすべきではないと主張しました。

志位氏は、憲法審査会を動かせば「必ずそこに自民党は改憲案を提起し、ずるずると改憲議論を始めることになる。憲法審査会を利用するということになる」と指摘し、「しかし、そんなことをする資格はこの内閣にはない。憲法審査会を動かさない、この点で野党が力を合わせて今国会をたたかいたい」と意気込みを語りました。

しんぶん赤旗 2018年10月19日(金)

「3000万人署名」やりきる 改憲阻止へ運動強化 全労連が幹事会で方針

全労連は17、18の両日、幹事会を開き、7月の大会以降の情勢を踏まえて憲法闘争方針を補強し、安倍9条改憲阻止をめざす「3000万人署名」の早期達成などを打ち出しました。

方針は、国民世論と運動が安倍改憲戦略を追い詰めてお

り、臨時国会を改憲発議の場にさせないこと、来年の参院選で改憲派による3分の2の議席獲得を許さず、安倍政権を退陣に追い込むことを強調しています。

署名を訴える人、宣伝に参加する人、「憲法を語る人」を増やすことが運動のカギになるとして、▽憲法学習を広げ「職場で憲法を語る人」を育てる▽宣伝行動を旺盛に展開する▽「11・3国会前大行動」を成功させる▽国会議員への要請をすすめる一ことなどを提起しています。

東京都内で会見した野村幸裕事務局長は、『「3000万人署名」に関わるたたかひの手を緩めれば、安倍政権はいつでも国会に対して改憲案の提示を行う」と危機感を示し、臨時国会と次の通常国会に向けてたたかひの山をつくることを訴えました。

また、沖縄県知事選挙で玉城デニー氏が勝利したことについて、「(米軍の)新基地建設に反対するたたかひ、改憲をとめるたたかひの起爆剤になった」と指摘し、勝利を確信に安倍政権を退陣に追い込むと強調しました。

2019年の国民春闘構想案では、改憲策動と「戦争する国」づくりの阻止をはじめ、消費税10%増税反対、「アベ働き方改革」への総反撃、ハラスメントの一掃、災害対策の強化を提起しています。

外国人労働者の受け入れ拡大政策について野村氏は、権利保障をまずやるべきであり、「入管法の改正案は拙速だ」



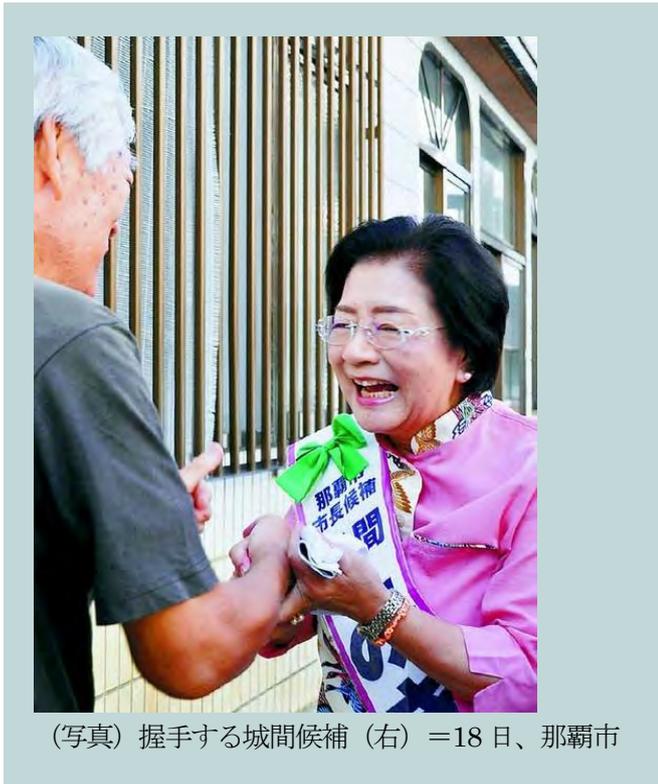
(写真) 会見する全労連の野村事務局長(右)＝18日、東京都内

と指摘。この課題で連携した運動を呼びかける連絡団体をつくることを報告し、移住労働者の働き方についての検討をすすめていきたいと話しました。

政府に対して、日本人と同等の権利を外国人労働者に保障する法制度を確立することや、人権侵害、長時間不払い労働などの問題が横行している外国人技能実習制度を廃止することなどを求めると強調しました。

しんぶん赤旗 2018年10月19日(金)

那覇市長選「三日攻防」へ 沖縄 城間候補「デニー知事



(写真) 握手する城間候補(右) = 18日、那覇市

と連携

那覇市長選(21日投票)は18日、「三日攻防」に突入しました。翁長雄志・前沖縄県知事の遺志を継ぐ「オール沖縄」で現職の城間みきこ候補は、玉城デニー新知事と連携して市を発展させるとの決意を述べ「もう一度、市政を託していただきたい」と訴えました。

城間氏は保育所増設や保育士の確保など待機児童ゼロに向けた実績を挙げ、中小企業支援や観光産業に力を入れた経済政策を打ち立てると強調しました。

翁長前知事が命をかけて取り組んだ同県名護市辺野古の米軍新基地建設を止めるための埋め立て承認の撤回に、政府が対抗措置をとったことについて「政府の理不尽で腹立たしい行為に抗議したい」と述べ、市長選で新基地ノーの圧倒的民意を示すことを呼びかけました。

豊見城(とみぐすく)市長選に勝利した山川仁氏が応援演説に立ち「新基地建設を止め、市民の安全を守るためには城間市長しかいない」と訴えました。

訴えを聞いていた女性(70)は「中学校教師の同僚だったみきこさんは、当時から頑張り屋さん。市長を続けてほしい」と述べました。

相手候補を推薦する自民党の市議は同日、中心市街地で「現市長を応援している共産党は暴力で解決する政党だ」などと事実無根の訴えをしていました。

野党、消費増税で攻勢=参院選の争点化狙う

立憲民主党など主要野党は18日、来年10月の消費税率10%への引き上げに関する合同ヒアリングを国会内で開き、政府の対応をただした。来年夏の参院選での争点化を狙っており、24日召集の臨時国会で追及を強める構えだ。

合同ヒアリングでは、消費増税分の使途とされる幼児教育・保育無償化について、出席者が高所得者の優遇につながるとして「格差を拡大するような使い道は問題だ」と疑問視。駆け込み需要の反動減を抑えるため政府が打ち出した「ポイント還元」制度にも内容を問いただす声が相次いだ。政府側は「検討中」と繰り返すにとどまった。(時事通信 2018/10/18-18:37)



ポイント還元制度「極めて不公平」野党側から指摘相次ぐ NHK2018年10月18日 17時02分

消費税率の引き上げをめぐる野党側のヒアリングが行われ、出席した議員からは、政府が検討しているポイント還元制度について、「クレジットカードを使わない高齢者などには還元されず、極めて不公平な制度だ」といった指摘が相次ぎました。

来年10月に予定されている消費税率の10%への引き上げをめぐる、立憲民主党など野党側は18日、国会内で財務省などからヒアリングを行いました。

この中で、出席した議員からは「安倍政権になってから、法人税は減税している一方、消費税を増税するのはアンバランスだ」といった意見が出されました。

また、政府が検討しているクレジットカードなどのポイント還元制度について、「2%増税し、2%還元するなら、引き上げの先送りと同じだ」とか、「クレジットカードを使わない高齢者などには還元されず、極めて不公平な制度だ」

といった指摘が相次ぎました。

これに対し、経済産業省の担当者は「円滑に進むよう、さまざまな取り組みを行っているが、詳細な制度は年末に向けしっかり検討したい」などと説明しました。

商品券検討に前向き＝消費増税対策で―山口公明代表

公明党の山口那津男代表は18日の記者会見で、2019年10月の消費税率10%への引き上げに合わせたプレミアム付き商品券について、「効果も実証済みだ。より効果のあるやり方かどうかということは検討する必要がある」と述べ、前向きに検討する考えを示した。

プレミアム付き商品券は、購入金額に一定のプレミアム分を上乗せした額面の商品券。最近では14年度補正予算に計上した交付金を活用して、自治体や商工団体が発行した。

山口氏は、政府が検討する中小企業でのキャッシュレス決済と増税分2%のポイント還元に関しては「効果がなかなか及びにくい、利用しにくい人たちは確実にいる」と指摘。現金給付については「どれだけ効果があるか、限界を考えながら検討していく」と述べた。(時事通信2018/10/18-18:29)

公明 山口代表 消費税引き上げの景気対策「商品券など検討も」

NHK10月18日 14時16分



来年10月に予定されている消費税率の10%への引き上げに伴う景気対策について、公明党の山口代表は、政府が検討しているクレジットカードなどのポイント還元制度は利用しにくい人もいるとして、商品券の発行なども検討すべきだという考えを示しました。

政府は、来年10月に予定されている消費税率の10%への引き上げに伴って、中小の小売店での消費の落ち込みを防ぐため、現金を使わずにクレジットカードなどキャッシュレス決済で買い物をした人に対し、購入額の2%分をその後の買い物で使えるポイントとして還元する制度の導入を検討しています。

これについて、公明党の山口代表は記者会見で、クレジットカードなどを持っていない人もいることを念頭に「仮にポイント還元の仕組みを取り入れたとしても、その効果がおよびにくい人や、利用しにくい人は確実にいる。そうした人たちへの配慮として、それ以外の方法はいろいろ考えられるのではないか」と指摘しました。

そのうえで山口代表は「過去の例で言えば『プレミアムつき商品券』を発行したことがあり、その効果は実証済みだ。現金給付についても、どれだけ効果があるか、よく考えながら検討していく」と述べ、商品券の発行なども検討すべきだという考えを示しました。

公明 商店街団体から消費増税対策を聞き取り

NHK2018年10月18日 19時36分



消費税率の引き上げに伴う景気対策を検討するため、公明党は商店街の団体などからヒアリングを行い、団体側からは商品券の発行など消費の落ち込みを抑える対策を求める意見が相次ぎました。

公明党は、来年10月に予定されている消費税率の10%への引き上げに伴う景気対策を検討する会合を開き、全国商店街振興組合連合会などからヒアリングを行いました。

この中で団体側は、政府が検討しているクレジットカードなどのポイント還元制度について、商店街を訪れる客がカードを使って買い物をするケースは少なく、消費の落ち込みを抑える対策としては不十分だと指摘しました。

そして消費を喚起するため、購入価格よりも高い金額の買い物ができる「プレミアム付き商品券」を発行するなどの対策を求める意見が相次ぎました。

このあと公明党の西田税制調査会長は記者団に対し、「『プレミアム付き商品券』は、これまでも実施して効果があったが、どういう人を対象とするのかなど、まだ生煮えの状態だ。党としての対策を引き続き検討したい」と述べました。

しんぶん赤旗 2018年10月19日(金)

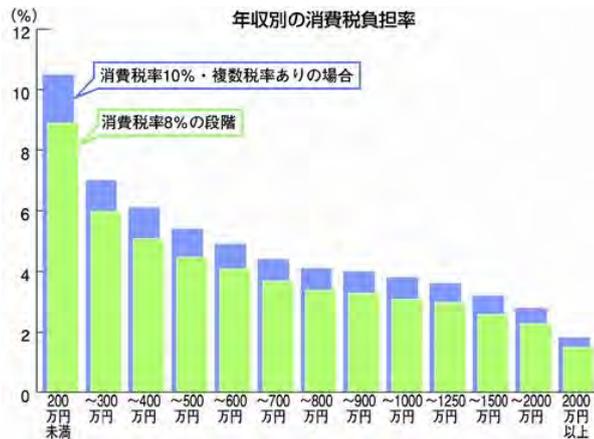
消費税増税 「低所得者に配慮」と言うが 複数税率でも格差拡大 本紙試算

安倍晋三首相が改めて表明した来年10月の消費税増税で、食料品などを8%に据え置く「複数税率」を導入しても、貧富の格差がさらに拡大することが、本紙の試算で明らかになりました。

消費税率8%の段階で、年収2000万円以上の世帯における消費税負担率は1・5%、同200万円未満の世帯では8・9%と7・4ポイントの差でした。一方、消費税率を10% (複数税率適用)にした場合、年収2000万円以上の世帯では1・8%、同200万円未満の世帯では10・5%でその差は8・7ポイントと開きます。

試算は総務省「全国消費実態調査」(2014年)を使い、

2人以上の世帯について年収に対する消費税の負担率を算出しました。



なお、年収200万円未満の世帯で消費税負担率が消費税率を超えるのは、貯蓄を取り崩して生活しているためです。

政府は消費税率10%への増税を強行するにあたって、「低所得者に配慮する」ために「複数税率」を導入していますが、収入の低い世帯ほど高負担となる「逆進性」がさらに悪化することは明白です。

片山氏「口利き」疑惑が浮上＝本人は事実誤認と否定



インタビューに答える片山さつき地方創生担当相＝18日午後、東京都千代田区

片山さつき地方創生担当相が入閣前に民間業者の依頼で国税当局に口利きし、見返りに金銭を受け取っていた疑惑が浮上した。18日発売の週刊文春が報じた。事実ならあっせん利得処罰法に抵触する可能性がある。片山氏は同日、報道内容を否定し、名誉毀損（きそん）で文春を提訴する構えを示した。

文春によると、片山氏は2015年、確定申告で優遇される青色申告の承認を取り消されそうになった会社経営者から依頼され、旧知の国税当局者に電話。私設秘書だった男性を介して100万円を受け取った疑惑がある。結局、承認は取り消されたという。

あっせん利得処罰法は、国会議員などが請託を受け、権限に基づく影響力を行使して公務員に口利きし、報酬として財産上の利益を得た場合、3年以下の懲役に処すると規

定している。（時事通信 2018/10/18-17:36）

片山さつき氏、口利き疑惑否定 「名誉毀損で提訴準備」 共同通信 2018/10/18 19:53



グループインタビューに臨む片山地方創生相＝18日午後、東京・永田町

片山さつき地方創生担当相は18日、週刊文春が報じた国税庁に対する口利き疑惑を否定した。報道各社の取材に「非常に事実誤認かつ不正確な内容が掲載されたことは残念。政治家としての社会的評価が著しくおとしめられており、名誉毀損で訴える準備をしている」と語った。

今週発売の週刊文春は、片山氏側が会社経営者から100万円を受け取り、この会社の確定申告に絡み国税庁関係者に電話をした、と報じた。片山氏は「100万円を受け取ったことも全くない」と主張した。

経営者に「大した問題じゃない」などと発言したとの指摘には「訴訟準備に入っているのだから」と述べ、明確な説明を避けた。

クリップボードにコピー

片山さつき氏、現金授受否定 企業は「口利き依頼した」 朝日新聞デジタル 2018年10月18日 18時51分



会見する片山さつき地方創生相＝2018年10月18日午後、東京・永田町、山本裕之撮影

片山さつき・地方創生相をめぐり、18日発売の週刊文春が、国税庁への口利き疑惑を報じた。片山氏は同日、「口利きしたことはない」と否定。口利きの謝礼として100万円の授受があったとの記事中の指摘についても「まったくない」と話した。

週刊文春の記事では、税務調査を受けた企業の経営者が2015年6～7月、片山氏側に国税庁への働きかけを依頼し、見返りとして片山氏の私設秘書の税理士に100万円を支払った、としている。片山氏が企業経営者との面会時、企業を管轄する国税局の局長に電話をかけた、とも報じた。

片山氏は記事の内容について「特定の企業への税務調査

について口利きしたことはないし、100万円を受け取ったこともない。事実誤認かつ不正確」と反論。「政治家としての社会的評価がおとしめられた」として、週刊文春側を名誉毀損（きそん）で訴える準備を進めていると話した。

記事では、私設秘書と書かれていた税理士の経歴について、片山氏の事務所は「15年5月に私設秘書を退職しています」と答えている。片山氏は、その部分は事実と認めた。

一方、企業経営者は朝日新聞の取材に「税制上の優遇がある青色申告の承認の取り消しを免れるため、片山氏の事務所に口利きを依頼し、私設秘書にもその説明をしたうえで100万円を支払ったことに間違いはない」と話した。

税理士は朝日新聞の取材に「100万円は受け取ったが、国税局への口利きが目的だとは知らなかった」と説明。片山氏に現金を渡したかどうかについては、「通帳を見て確認する」と語った。

しんぶん赤旗 2018年10月19日(金)

片山地方創生相の口利き疑惑 「説明責任果たせ」 志位委員長が見解

日本共産党の志位和夫委員長は18日の記者会見で、『週刊文春』10月25日号で報じられた、確定申告をめぐる片山さつき地方創生相の国税庁への「口利き」疑惑について問われ、「事実なら刑事罰に問われる深刻な問題であり、大臣はおろか国会議員の資格にかかわる。片山氏には国民が納得のいく説明をする責任がある」と述べ、片山氏に説明責任を果たすよう求めました。

菅氏「片山氏が説明責任を」 公明・山口氏も、口利き疑惑報道

共同通信 8/10/18 13:26

菅義偉官房長官は18日の記者会見で、片山さつき地方創生担当相の国税庁に対する口利き疑惑を週刊誌が報じたことを巡り「片山氏が政治家として、自らの政治活動について説明責任を果たしていくと思う」と述べた。公明党の山口那津男代表も会見で、同様の見解を示した。

菅氏は、片山氏から事実関係の説明を受けたのかとの質問には「片山氏がしっかり説明するだろう」として直接答えなかった。

山口氏は、政治団体の集会収入を政治資金収支報告書に記載しなかった工藤彰三国土交通政務官を含め「国民への説明責任を尽くすことが大切だ」と指摘した。

片山地方創生相 私設秘書の疑惑否定 法的措置の考え

NHK10月18日 19時07分

片山地方創生担当大臣は報道各社のインタビューで、みずからの私設秘書を務めていた男性が、会社経営者から税制上の優遇措置が継続されるよう働きかけを依頼され、現金

を受け取ったなどと一部で報じられたことについて、関与を否定し、法的措置を取る考えを示しました。

18日発売の「週刊文春」は、3年前の平成27年当時、片山地方創生担当大臣の私設秘書を務めていた男性が、会社経営者から税制上の優遇措置が継続されるよう働きかけを依頼され、100万円を受け取ったあと、片山大臣自身が依頼に応じて国税庁に電話をかけたなどと報じました。

これについて、片山大臣は18日午後、報道各社のインタビューで、「あたかも私が100万円を要求して、国税の税務調査に介入したかのように誤解されかねない記事が出ているが、特定の企業への税務調査に口利きをしたことはないし、100万円を受け取ったことも全くない」と述べ、みずからの関与を否定しました。

そのうえで、片山大臣は「非常に事実誤認かつ不正確な内容が掲載されていることは大変残念だ。この記事で政治家としての社会的評価が著しくおとしめられており、現在、当該、週刊誌を可及的、速やかに名誉毀損で訴える準備を進めている」と述べ、法的措置をとる考えを示しました。

報道の内容は

18日発売の「週刊文春」は、3年前、片山さつき地方創生担当大臣や私設秘書だった男性が、会社経営者から税制上の優遇措置が継続されるよう国税当局への口利きを依頼され、100万円を受け取ったなどと報じています。

記事では3年前の平成27年7月に、会社経営者に送られた片山氏と私設秘書が差出人となっている文書を入手したとして、「着手金100万円を、至急下記にお願い申し上げます。ご確認後、国税に手配させていただきます」と記されているとしています。

また、その年の9月には、片山氏と会社経営者が参議院議員会館で面会し、片山氏がこの会社の地元を管轄する旧知の国税庁の局長に直接電話をしたほか、11月には私設秘書が社長とともに税務署を訪れたなどと報じています。

会社経営者「片山氏との面会も事実」

NHKの取材に対し、片山氏側に口利きを依頼したと報じられた製造業の会社経営者は「片山氏と私設秘書にうちの会社に入った税務調査をめぐって、国税当局への口利きを依頼し、私設秘書に100万円を渡したことは事実だ」と話しています。そして、議員会館で片山氏と面会したことも事実だとしたうえで「片山氏は『100万円で済むなら高くないでしょう』と言っていたし、秘書も『なんとかしましょう』と話していた」と述べました。

また、片山氏や私設秘書が差出人となっている文書については「文書があるのは事実で、弁護士にコピーを渡している」と説明しています。

元私設秘書「文書は偽造されたもの」

NHKの取材に対し、片山氏の私設秘書だった税理士の男性は、3年前に会社経営者から100万円を受け取ったことを認めたうえで、「会社経営者から国税局の税務調査につい

て相談され、税理士としての正当な報酬として現金を受け取った。不正な口利きの見返りなどではなく、片山氏が国税当局に電話したのかどうかも知らなかった」と話しています。

また、週刊文春が入手したとしている、みずからや片山氏が差出人となっている文書については「個人の税理士として受けた仕事なのに、議員の名前や議員事務所の住所を記すことはありえない。会社に対して送付した記憶はなく、偽造されたものではないか」と反論しています。

一方、会社経営者から受け取った100万円が片山氏に渡ったかどうかについては「当時の帳簿や通帳などを確認できず、回答を保留させてほしい」と述べるにとどまりました。

国税庁「コメントする立場にない」

NHKの取材に対し、国税当局への口利きを依頼された片山氏からの電話を受けたと報じられた当時の国税庁の局長は「国税庁に所属していた時の話なので、国税庁に聞いてほしい」とコメントしています。

また、国税庁は「記事の内容についてコメントする立場にない。守秘義務もあり、個別事案についてはお答えできない」としています。

官房長官「説明責任果たしていくだろう」

菅官房長官は午後の記者会見で、「片山大臣がそう答えたということであれば、そのとおりだろうと思う。今後もしっかり説明責任を果たしていくだろうと思う」と述べました。

立民 福山幹事長「自身がしっかり説明すべき」

立憲民主党の福山幹事長は記者会見で、「週刊誌の報道だけでコメントするのが適切かどうか分からないが、疑惑を持たれている大臣自身がしっかりと説明すべきことだ。進退についてはご自身が判断されることで、今の段階で私ごとやかく言う段階には至っていない」と述べました。

共産 志位委員長「事実なら刑事罰問われる問題」

共産党の志位委員長は記者会見で、「片山大臣は、国民に対し、納得のいく説明を行う責任がある。事実であれば、大臣の資格はおろか、国会議員の資格もなく、刑事罰に問われる深刻な問題だ」と述べました。

社民 又市党首「直ちに説明責任を果たすべき」

社民党の又市党首は記者会見で、「疑惑を持たれたら、直ちに説明責任を果たすべきで、事実だとすると、あっせん利得処罰法違反になる。説明のうえ、事実であれば、直ちに閣僚は辞任すべきで、当然、任命した安倍総理大臣の責任も問われなければならない」と述べました。

私設秘書の現金授受疑惑「片山大臣が説明責任果たす」官房長官

NHK2018年10月18日 12時18分



片山地方創生大臣の私設秘書が、会社経営者から税制上の優遇措置が継続されるよう依頼を受け、現金を受け取っていたなどと一部で報じられたことについて、菅官房長官は午前の記者会見で、片山大臣自身が説明責任を果たすことになるという認識を示しました。



18日発売の「週刊文春」は、片山地方創生担当大臣が、みずからの私設秘書が3年前の平成27年、会社経営者から税制上の優遇措置が継続されるよう依頼され、100万円を受け取ったことを踏まえ、依頼に応じて国税庁に電話をかけていたなどと報じました。

これについて、菅官房長官は午前の記者会見で、「片山大臣が政治家として、みずからの政治活動なので、説明責任を果たしていくだろうと思う」と述べました。

また、記者団が「片山大臣から報告を受けているか」と質問したのに対し、「大臣がしっかり説明されると思っている」と述べました。

片山大臣は18日午後、この報道について、記者団に対し、みずからの認識を説明することにしています。

沖縄北方相側に談合業者が献金 3年分36万円、返還意向

共同通信 8/10/19 02:00

宮腰光寛沖縄北方担当相が代表を務める自民党富山県第2選挙区支部が、関西電力発注の送電線工事で談合していたとして、2014年に公正取引委員会から行政処分を受けた地元企業から、14～16年に計36万円の献金を受け取ったことが18日、同支部の政治資金収支報告書で分かった。

宮腰氏の事務所は取材に、業者の談合への関与は知らなかったとした上で「行政処分後に受け取った献金を返還することで（業者と）合意した」とのコメントを出した。

政治資金規正法には、談合企業からの献金を禁じる規定はないが、発覚後に道義的な観点から返還するケースが多い。

立憲・青山氏が離党

立憲民主党の青山雅幸衆院議員（比例代表東海ブロック）は18日、党本部に離党届を提出し、受理された。週刊誌でセクハラ問題が報じられ、無期限党員資格停止処分となっていた。

静岡県庁で記者会見した青山氏は、セクハラ問題に絡ん

で近く訴訟を起こす考えだとして「党に迷惑を掛ける恐れもあり、やむを得ず離党する」と説明。今後は無所属で活動する意向を示した。(時事通信 2018/10/18-17:25)

青山雅幸衆院議員が立民離党 セクハラ指摘に法的措置 共同通信 2018/10/18 21:05



立憲民主党に離党届を提出し、記者会見する青山雅幸衆院議員＝18日午後、静岡県庁

青山雅幸衆院議員(比例東海、立憲民主党員資格停止中)は18日、地元の静岡県庁で記者会見し、離党届を党本部に提出したと発表した。県内の女性市議から指摘された元支援者女性へのセクハラは事実無根だとして法的措置を取る考えを示した。「党に迷惑を掛ける恐れもあり、やむを得ず離党する」と述べた。離党届は同日、受理され、今後は無所属で活動する。

立民の福山哲郎幹事長は国会内で会見し、青山氏に数日前、離党を促したことを明らかにした上で「静岡県民に心からおわびする。(地方組織の)態勢を立て直したい」と語った。

青山氏は弁護士で、昨年10月の衆院選で初当選した。

セクハラ疑惑の立憲・青山氏が離党届「冤罪を晴らす」 朝日新聞デジタル 2018年10月18日 17時49分

立憲民主党の青山雅幸衆院議員(比例東海)が18日、静岡市内で記者会見し、同日、党本部に離党届を提出したと発表した。当面、無所属で活動するという。

青山氏は元秘書へのセクハラ疑惑で、無期限の党員資格停止処分を受けた。その後、元支援者の女性からセクハラ被告があり、党が調査していた。青山氏は「今後、訴訟でセクハラ冤罪(えんざい)を晴らす。相当時間がかかり、党に迷惑がかかる恐れがあるため、やむを得ず離党する」と説明した。

立民 日吉氏と青山氏が離党 日吉氏は自由党へ NHK2018年10月18日 18時59分



立憲民主党は日吉雄太衆議院議員と青山雅幸衆議院議員からそれぞれ提出された離党届を受理し、2人は18日付け

で離党しました。このうち日吉氏は、18日付けで自由党に入党しました。

立憲民主党は18日の常任幹事会で、いずれも衆議院比例代表東海ブロック選出の日吉雄太衆議院議員と青山雅幸衆議院議員から、それぞれ提出されていた離党届の扱いを協議しました。

その結果、いずれの離党届も受理することを決め、2人は18日付けで立憲民主党を離党しました。

日吉氏は自由党に入党したいとして、先月、離党届を提出していて、青山氏は去年、みずからの元秘書に性的な嫌がらせをしたなどと週刊誌で報じられ、無期限の党員資格停止処分を受けていて、18日、離党届を提出しました。

このうち、日吉氏は18日付けで自由党に入党し、記者会見を行い、「衆議院で自由党の会派を残していくことが重要で、野党側が1つにまとまっていく役割を果たしたい」と述べました。

青山議員「法的手続きに時間」

青山議員は18日、静岡県庁で記者会見し、離党した理由について、「セクハラと非難される行為があったかなかったか、民事、刑事の法的手続きを通して、公明正大に徹的に決着を付け、えん罪を晴らしていくこととした」と述べました。

そして、法的な手続きには相当の時間がかかることが想定され、党に迷惑をかけるおそれがあるため、やむをえず離党するとしたうえで、「投票していただいた皆様の期待に背く選択をしなければならぬことについて、心よりおわび申し上げます」と話していました。

国民との統一会派否定＝社民党首

社民党の又市征治党首は18日の記者会見で、国民民主党の玉木雄一郎代表が協議を持ちかけた統一会派の結成に関し、「今のところ念頭に全くない」と述べ、否定した。

又市氏は、17日に玉木氏と面会した際、「野党は国会、選挙で共闘を強めることで国民の信頼を高めることが大事だ」と伝えたことも明らかにした。(時事通信 2018/10/18-19:34)

希望と維新 臨時国会での参院統一会派は結成せず NHK2018年10月18日 18時22分



希望の党の松沢代表は記者会見で、来週24日に召集される臨時国会では、日本維新の会に打診していた参議院での統一会派は結成しないことを明らかにしました。

希望の党は党所属の国会議員が衆議院で2人、参議院で3

人となっており、単独で法案を国会に提出することなどができないことから、日本維新の会に対し、参議院での統一会派の結成を打診し、両党が協議してきました。

これについて、希望の党の松沢代表は記者会見で、『もう少し時間をかけて協議を続けていこう』ということになった。来年の通常国会で統一会派が結成できるよう、今後も協議していく」と述べ、来週 24 日に召集される臨時国会では、日本維新の会との統一会派は結成しないことを明らかにしました。

そのうえで、松沢氏は「臨時国会でもお互いに議員立法を検討したいと考えているので、『一緒にできるか相談していこう』ということになった」と述べ、日本維新の会と協力していきたいという考えを示しました。

日吉氏が自由党入り＝長島氏らは会派「未来日本」結成

立憲民主党は18日の常任幹事会で、離党届を提出していた日吉雄太衆院議員(比例代表東海ブロック)について、厳重注意処分の上で離党を認めた。日吉氏は同日付で自由党に入党。同党代表の小沢一郎氏と会派「自由党」の結成を衆院事務局に届け出た。同党の衆院会派は玉城デニー氏の沖縄県知事選出馬に伴い消滅していた。

一方、無所属の長島昭久、笠浩史両衆院議員も18日、新会派「未来日本」の結成を衆院事務局に届け出た。新たな勢力分野は次の通り。

自民283▽立憲・市民クラブ57▽国民・無所属クラブ38▽公明29▽無所属の会13▽共産12▽維新11▽社民・市民連合2▽希望2▽未来日本2▽自由2▽無所属13▽欠員1。(時事通信 2018/10/18-18:34)

衆院で新会派「未来日本」結成 長島、笠氏

共同通信 18/10/18 13:19



長島昭久衆院議員(左)、笠浩史衆院議員

無所属の長島昭久衆院議員(東京21区)は18日、無所属の笠浩史衆院議員(神奈川9区)と新会派「未来日本」を結成し、衆院事務局に届け出た。衆院の会派別勢力分野は次の通り。

【衆院】

自民党283▽立憲民主党・市民クラブ58▽国民民主党・無所属クラブ38▽公明党29▽無所属の会13▽共産党12▽日本維新の会11▽社民党・市民連合2▽希望の党2▽未来日本2▽無所属14▽欠員1

長島昭久氏と笠浩史氏、衆院会派「未来日本」を結成 朝日新聞デジタル 2018年10月18日14時56分



長島昭久氏



旧民進党系で無所属の長島昭久(東京21区)、笠浩史(りゅうひろふみ)(神奈川9区)両衆院議員は18日、衆院で新たな会派「未来日本」を結成すると衆院事務局に届け出た。ともに昨年の衆院選の前に旧民進党を離れ、旧希望の党に結成メンバーとして参加。今年5月に希望が国民民主党に移行する際に加わらず、無所属となっていた。同じく無所属の細野豪志元環境相(静岡5区)にも参加を呼びかけているという。

笠氏は朝日新聞の取材に「無所属では十分な議会活動ができない。会派を組むことで質問する機会を得たい」と語った。

日本の制裁は信頼損なう＝領土先決に否定的ープーチン大統領



18日、ソチで、ロシア専門家が集まるバルダイ会議に出席したプーチン大統領(AFP時事)

【モスクワ時事】ロシアのプーチン大統領は18日、日本の対ロ制裁が日ロの信頼醸成を損なっていると述べた。その上で、北方領土問題を解決後に平和条約を締結するという日本の方針に懐疑的な見方を示した。

南部ソチで開かれた内外のロシア専門家が集まる「バルダイ会議」で語った。安倍晋三首相はプーチン氏と年内に首脳会談を2回行い、北方領土問題を含む平和条約締結交渉の進展を目指しているが、会談は厳しいものとなりそうだ。

プーチン氏は、ウクライナ危機を受けて欧米と共に日本が発動した対ロ制裁を「信頼向上に向けた歩みと考えられ

るだろうか」と批判した。(時事通信 2018/10/19-00:27)

日本とEU EPA早期発効へ 年内に国内手続き努力を確認

NHK2018年10月19日 5時11分

ベルギーを訪れている安倍総理大臣は、EU＝ヨーロッパ連合のユンケル委員長と会談し、EPA＝経済連携協定の早期発効に向け、双方の国内手続きを年内に終えるよう最大限努力することを確認しました。

ASEM＝アジア・ヨーロッパ首脳会合に出席するため、ベルギーのブリュッセルを訪れている安倍総理大臣は、日本時間の19日未明、首脳会合の議長を務める、EUのユンケル委員長と会談しました。

この中では、ことし7月に日本とEUが署名した、世界最大規模の貿易協定となるEPA＝経済連携協定について、多国間での自由貿易体制を発展させていくために重要だとして、協定の早期発効に向け、双方の議会承認などの国内手続きを年内に終えるよう、最大限努力することを確認しました。

そのうえで両首脳は、WTO＝世界貿易機関の改革に向け、緊密に連携していくことで一致しました。

また会談で安倍総理大臣は、5か月後に迫ったイギリスのEU離脱をめぐり、交渉がこう着状態に陥っていることに憂慮を伝えるとともに、現地の日本企業への影響を最小限に抑えるため、交渉の透明性を確保し、制度変更などの移行期間を設定することが必要だとして協力を求めました。

首相 東欧4か国首脳と会談 北朝鮮制裁履行で連携

NHK2018年10月19日 4時46分

ベルギーを訪れている安倍総理大臣は、東ヨーロッパ4か国の首脳とそろって会談し、北朝鮮の非核化や拉致問題の解決には、国連安保理決議に基づく制裁措置を完全に履行することが重要だとして、今後緊密に連携していくことを確認しました。

ASEM＝アジア・ヨーロッパ首脳会合に出席するため、ベルギーを訪れている安倍総理大臣は、日本時間の18日夜遅く、スロバキア、チェコ、ポーランド、ハンガリーの東ヨーロッパ4か国の首脳とそろって会談しました。

安倍総理大臣と4か国の首脳は、北朝鮮情勢について意見を交わし、北朝鮮の非核化や拉致問題の解決には、国連安保理決議に基づく制裁措置を完全に履行していくことが重要だという認識で一致し、今後緊密に連携していくことを確認しました。

また会談で、双方は普遍的価値を共有するパートナーだとして、人的交流を拡大することや、科学技術や経済分野などでの協力を強化していくことを確認しました。

超党派71人が靖国参拝

超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久元参院副議長)は18日午前、東京・九段北の靖国神社を集団参拝した。磯崎仁彦経済産業副大臣や山田宏防衛政務官ら政府関係者を含め、自民党や日本維新の会などから計71人が参加した。

参拝後に記者会見した尾辻氏は「内外ともに騒がしいときだ。そんなときだからこそ、きょうは静かにみんなで一緒に参拝をさせていただいた」と語った。

塚田一郎国土交通副大臣は18日午後、超党派議員の会とは別に靖国神社を参拝した。(時事通信 2018/10/18-17:39)

超党派議連70人が靖国参拝 例大祭、3人の副大臣も共同通信/10/18 13:39



集団で参拝に向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」のメンバーら＝18日午前、東京・九段北

超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久元参院副議長)の約70人が18日午前、靖国神社(東京・九段北)を集団参拝した。17～20日の秋季例大祭に合わせた。安倍内閣から左藤章内閣府、高鳥修一農林水産、磯崎仁彦経済産業の3人の副大臣と、大西英男総務、山田宏防衛ら4人の政務官が参加した。

衛藤晟一首相補佐官、自民党の加藤勝信総務会長と森山裕国対委員長も参拝。同党のほか、日本維新の会や希望の党の議員らが加わった。議連とは別に塚田一郎国土交通副大臣も訪れた。

靖国参拝、衆参議員の71人 秋季例大祭に合わせ朝日新聞デジタル 2018年10月18日 10時43分



靖国神社に参拝する「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の議員ら＝2018年10月18日午前8時、東京都千代田区、伊藤進之介撮影

超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長＝尾辻秀久・元厚生労働相)の衆参議員71人が1

8日朝、秋季例大祭が開かれている東京・九段北の靖国神社に参拝した。

自民党の加藤勝信総務会長（前厚労相）や森山裕国会対策委員長のほか、安倍内閣の政務三役では磯崎仁彦経済産業副大臣や大西英男総務政務官らが参加した。

内訳は自民68人、日本維新の会1人、希望の党1人、日本のこころ1人。参拝後に会見した尾辻氏は、参拝しなかった安倍晋三首相について「(今後) お参りがあることを願う」と述べた。

超党派議員の会が靖国神社に参拝

NHK2018年10月18日 11時38分

靖国神社の秋の例大祭に合わせて、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の衆参両院の国会議員71人が18日、そろって参拝しました。



「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は毎年、春と秋の例大祭と、8月15日の「終戦の日」に合わせて、東京九段の靖国神社に参拝しています。

18日は会長を務める自民党の尾辻元参議院副議長や加藤総務会長、森山国会対策委員長のほか、日本維新の会の東総務会長や、希望の党の中山恭子元拉致問題担当大臣ら、衆参両院の国会議員71人が午前8時に靖国神社の本殿に昇殿し、そろって参拝しました。

安倍内閣からは、衛藤総理大臣補佐官や、高鳥農林水産副大臣、山田防衛政務官らが参拝しました。

このあと尾辻氏は記者会見し「内外ともに騒がしい時だからこそ、静かにお参りした。安倍総理大臣のお参りがあることを願っている」と述べました。

靖国神社の秋の例大祭に合わせて衆参両院の国会議員たちが参拝したことについて、韓国外務省は18日、「侵略戦争の歴史を美化している靖国神社への参拝を繰り返したことに對して深い憂慮と失望を禁じえない」という論評を出しました。

論評ではまた、「日本の政治家たちが歴史に対する真摯(しんし)な反省を行動で示し、未来志向の日韓関係の発展に寄与することを求める」として遺憾の意を示しています。

国際法学者の大沼保昭さんが死去 戦争責任などを研究

朝日新聞デジタル 2018年10月18日 22時26分

戦争責任の研究や慰安婦問題などに取り組んだ国際法学者で東京大名誉教授の大沼保昭(おおぬま・やすあき)さんが16日、腎盂(じんう)がんのため死去した。72歳だった。通夜、告別式は親族で営んだ。喪主は妻清美さん。

後日、偲(しの)ぶ会が行われる予定。長女は自民党の大沼瑞穂・参院議員。

山形市生まれ。東大法学部在学中、全共闘運動やベトナム反戦運動に影響を受け、在日韓国・朝鮮人の指紋押捺(おうなつ)撤廃やサハリン残留朝鮮人の帰還などの運動に参加した。95年に設立された「女性のためのアジア平和国民基金」(アジア女性基金)の理事として、元日本軍慰安婦への「償い事業」に取り組んだ。

東大大学院教授を09年に退職し、16年まで明治大特任教授。国際法を専攻し「国際条約集」の編集代表も務めた。経済摩擦についての論文で87年に石橋湛山賞。戦争責任などの研究で17年に内海愛子、田中宏の両氏とともに日本平和学会平和賞を受賞した。

安倍晋三首相が15年に戦後70年の談話を出した際には、国際政治学者ら70人余の発起人代表として声明をまとめ、「日本の戦争は違法な侵略戦争だったと明確にすべきだ」と訴えた。

国際法学者の大沼保昭さん死去

NHK2018年10月18日 21時23分



日本の戦争責任や平和主義などを積極的に論じた国際法学者で東京大学名誉教授の大沼保昭さんが、16日に腎(じん)うがんのため都内の病院で亡くなりました。72歳でした。

大沼さんは昭和21年に山形県で生まれ、東京大学法学部を卒業したあと助手や助教授をへて昭和59年に東京大学の教授となり、長年、国際法の研究に取り組んできました。特に、日本の戦争責任や戦後の補償などをめぐって積極的に問題提起を続けてきたほか、在日韓国人や在日朝鮮人の社会的地位の向上や慰安婦問題の解決に向けた運動にも携わってきました。

また、平和主義や国際協調の重要性を訴え、現在の憲法を戦後の日本の発展や平和を支えたものとして高く評価したうえで、その精神を引き継ぐには時代や国際社会の現実にあわせた改正が必要だとする「護憲的改憲論」を唱えました。

家族によりますと、大沼さんは5年ほど前からがんを患っていましたが、戦後70年となった3年前には国際法や歴史学などの研究者74人で共同声明を出すなど、最近まで治療を受けながら論文の執筆や講演などを行っていたということです。

喜界島で爆発、不発弾か けが人なし、鹿児島

共同通信 8/10/18 21:47



爆発があった民家の敷地＝18日午後、鹿児島県喜界町（同町役場提供、車のナンバーを画像加工しています）

18日午後2時10分ごろ、鹿児島県・喜界島（喜界町）の民家の敷地内で爆発があり、民家に隣接する倉庫が半壊し、深さ約3メートルのすり鉢状の穴ができた。地元消防と町役場によると、民家には所有者の60代男性と妻がいたが、けが人はいなかった。県警は不発弾による爆発の可能性があるとみて自衛隊に調査を依頼した。

喜界町などによると、爆発があったのは、農業用倉庫周辺の地中とみられる。爆発を目撃した地元消防職員がそのまま現場に駆け付け、県警や町に連絡した。

同町では年に1回程度、戦時中に米軍が投下した不発弾が発見され、処理されているという。

戦時中の不発弾？ 喜界島で爆発、住宅地に深さ3mの穴

朝日新聞デジタル 2018年10月18日 20時09分

18日午後2時10分ごろ、鹿児島県喜界町湾の農業、厚生三（あつしくぞう）さん方で爆発が起きたと、喜界消防分署から同町役場に通報があった。けが人はなかった。町総務課によると、戦時中の不発弾が爆発した可能性があるという。

爆発があったのは厚さん方の住宅敷地内で、農機などを保管する木造平屋建ての倉庫そば。倉庫横の住居にいた厚さんは、「ドーンドーン」と短時間に大きな爆発音が2回聞こえたと話しているという。

爆発で倉庫下の土が吹き飛ばされ、深さ約3メートル、長さ5メートルにわたって穴ができ、倉庫の木製の壁が壊れて半壊したという。現場は町道沿いの住宅地。喜界幹部派出所の警察官が捜査のため、ロープを張って町道を通行止めにしたという。（大崎浩義）

不発弾爆発か 倉庫が半壊 けが人なし 鹿児島 喜界島

NHK 2018年10月18日 22時49分



18日午後、鹿児島県の喜界島で、何かが爆発したような大きな音がして地面に穴が開き、倉庫が半壊するなどの被害が出ましたが、けが人はいませんでした。町などは、現場の状況から、不発弾が爆発した可能性もあると見て調べています。

18日午後2時ごろ、鹿児島県喜界島の喜界町湾で、何かが爆発したような「ボン」という大きな音がして砂ぼこりが舞い上がるのを、近くにいた消防署員が目撃しました。町によりますと、けが人はいませんでしたが、地面に深さ3メートル、直径4メートルの穴が開き、木造平屋の倉庫が半壊したほか、軽トラックが穴に転落したり近くにとめてあった軽乗用車のフロントガラスにひびが入ったりしました。

喜界島では、ことしになって、不発弾が合わせて2発見つかっていて、町などは現場の状況から、不発弾が爆発した可能性もあると見て調べています。

（ナガサキノート）被爆直後、忘れられない静けさ

朝日新聞デジタル 田中瞳子・25歳 2018年10月18日 16時18分



南側から見た浦上天主堂の残骸。崩れ落ちたドームも見える＝松本栄一撮影



片岡仁志さん。本原教会の前で＝2018年9月13日、長崎市三原2丁目



片岡仁志さん（1936年生まれ）

《声ひとつない静けさ。誰も叫んだり泣いたりしませんでした。本当にあんな静けさがあるんですかね》

片岡仁志（かたおかひとし）さん（82）は私に「その瞬間」のことを、そう語った。「原爆」と「静けさ」——。私は、その二つの言葉を結びつけることができなかった。

片岡さんは9歳のとき、爆心地から約1・8キロにある長崎市本原町2丁目（今の辻町）の自宅で被爆した。「原爆そのものについては知らないんです。覚えているのは一瞬の強い光だけです」。そして、少し時間が経って意識を戻した時のことを、こう表現した。「阿鼻叫喚（あびきょうかん）もない、忘れられない静けさ」

カトリックの司祭として、長崎や東京、福岡などの修道院で60年近く過ごした片岡さん。10年ほど前からは本原教会（長崎市三原2丁目）の修道院で暮らす。

私はこの夏、被爆者と宗教の関わりを取材する中で片岡さんと出会った。その印象的な「言葉」とともに、被爆体験をつづりたい。

《一つだけ、楽しい思い出があるんですよ》

原爆に遭う前の話を聞かせてほしいと頼むと、片岡さんは穏やかにほほえんだ。

「それは、授業の代わりに先生が紙芝居をしてくれたことです」。国民学校1年生のとき、担任の先生が時々、紙芝居が入った大きな木の箱を持って教室に入ってきたという。「お話の内容は覚えていないけれど、昔話だったと思います」。子どもたちはみんな拍手をして、大盛り上がり。「やったー！ どころじゃない喜びでした。他に娯楽がないでしょう」

子どものころは勉強がきらいだったという片岡さん。戦争の影響で、まともに授業があったのは国民学校の2年生ごろまでだったという。3年生になったころからは授業の代わりに山王神社や護国神社に行き、「戦争で勝つように」とお参りをしていたという。

「子どもながら、日本に勝ってほしいという一心で。宗教が違ってもきちんと祈っていました」

《浦上は思い出の地。だから、離れたくないんですね》

原爆の記憶が強く残る浦上にいるのはつらくないのかと

尋ねると、片岡さんは意外そうな顔をして答えた。「ただ、ふるさとでしょう。その思いが強いです」

1945年8月9日。片岡さんは二つ年上の兄、涼さんや近所の友人たち6人で、浦上天主堂に行った。カトリックの祭日である8月15日の「聖母の被昇天」を前に、神父に罪を告白して許しを得るためだ。すでに天主堂には行列ができていたが、「ガキ大将」的な存在の近所のお兄ちゃんが周りに「先にやらせろ」と言ったため、片岡さんらは早めに懺悔（ざんげ）を終えて、自宅に帰ることができた。

浦上小教区の沿革史によると、原爆によって天主堂の中にいたと思われる数十人の信者と神父2人が即死したとされる。

「もう少し遅ければ、浦上天主堂の下敷きになるか、帰り道で死んでいたかもしれません」

《入れって言うたろが》

片岡さんが兄・涼さんに向けた最後の言葉だ。

1945年8月9日午前11時2分。片岡さんは爆心地から約1・8キロの自宅で被爆した。懺悔のために行った浦上天主堂から帰宅してまもなくのことだった。

先に帰宅していた涼さんはセミを捕りに行こうと庭に出ていた。天主堂からの帰り道、「飛行機が来ているらしいぞ」と聞いた片岡さんは涼さんに家の中に入るよう促したが、「俺はセミを捕る」と中に入らなかった。

直後、飛行機のような大きな音が聞こえ、勝手口から空を見ると、ものすごい光を浴びて片岡さんは意識を失った。

少しして目を覚ますと、片岡さんは4～5メートルほど離れた、涼さんがいた場所まで吹き飛ばされていた。涼さんの髪の毛や着ていたはずのグレーの半袖シャツは燃えてなくなっていた。はいていた短パンも煙がくすぶっていて、涼さんはぼうぜんと立ち尽くしていた。

《自分が不幸だとか、悲しいだとか考えている余裕はありませんでした》

被爆のことを語る片岡さんには「重苦しさ」がない。私は、それが不思議に感じた。

片岡さんは原爆で大やけどを負った兄、涼さんのために近くの井戸に何度も水をくみに行った。しかし、涼さんは8月9日夜、防空壕（ごう）の中で息を引き取った。

「坊ちゃん、水を飲ませてください」と声をかけてきた男性。川の中で、何も身につけずに震えていた知り合いの夫婦。浦上第一病院（現在の聖フランシスコ病院）が燃え上がる姿。あの日の光景は今もはっきりと目に焼き付いているという。

「普通なら泣いたりわめいたりするのに、何の怖さも悲しみもなかった。無感覚になっているんですね」

この言葉を聞き、私は感じていた不思議さの理由が分かった気がした。そして改めて、原爆の残酷さを感じずにはいられなかった。

《情緒や感性が奪われました》

原爆によって兄の涼さんを亡くした片岡さん。自身に大きなけがはなかったものの、被爆後しばらくは下痢や嘔吐（おうと）などが続いたという。「体がだるかったのは覚えているけど、悲しい、苦しいとか、どうしようもない落ち込み、そういう人間の感情は奪われていたのだと思います」それは戦後も続いたようだ。

片岡さんは戦後、近所の三つの家族で、竹や丸太で作った小屋で暮らした。雨が降ってもさえぎるものはなく、床の下を水がどんどん流れていく様子を見て、近所のおじさんがこう漏らした。「ノアの方舟（はこぶね）に乗っているみたいだ」。それを聞いた人々は大笑いした。

私は片岡さんに「つらい状況を笑いに換えようとしていたのですか？」と尋ねた。

片岡さんの答えはこうだった。

「普通なら、親も死に子も死に、この状況で笑わないでしょう。人間の感性がおかしくなっていたんです」

《これからは電気をつけて明るいところで生活できるんだなあ》

1945年8月15日。終戦を知った片岡さんはまず、そう感じたという。「家も電気も何もない状況なのにねえ」と片岡さん。「灯火管制がよほど嫌だったのでしょう」

原爆によって自宅を失った片岡さんは数週間、近所の人たちとともに防空壕で寝泊まりしていた。その後、地元の隣組の組長の知り合いだった大工が小屋を建ててくれた。

自宅があった場所に丸太を立てて床をあげ、壊れた家のトタンや板などを敷いた。家のすぐ近くに生えていた竹を壁代わりに何本も立てたが、2、3日もすると竹の葉が落ちてしまい、家の中がほぼ丸見えの状態になったという。

そんな「新居」の前をアメリカの進駐軍が通り、ニコニコしながら眺めていたことを覚えている。

「何を感じていたんでしょうね。今となっては知る由もありませんが」

《ほとんどみんな、死んでしまいました》

片岡さんは終戦後の1945年9月、山里国民学校に登校した。長崎原爆学校被災誌によると、原爆が投下される前の同校の児童数は1600人ほど。しかし、片岡さんの記憶では、登校日に集まった生徒は20人いるかどうかだったという。

「原爆の前は、ほんとににぎやかな学校でしたからねえ。あれだけおった生徒が……。先生は生徒を見て泣いていました」

コの字形だった山里国民学校の北側校舎の2階部分は焼け残り、机やいすは残っていたが、まともに授業ができる環境ではなかった。そのため、1キロほど離れた師範学校の教室まで机やいすを担いで運び、そこで授業をした。教科書もノートも鉛筆もない子どもばかりだった。

しばらくたって給食が始まったが、茶わんほどの大きさのアルミ製のボウルに粉ミルクと、サイコロ大に細かく切

られたサツマイモが入っているだけだったという。

《学びの場であり、憩いの場であり、祭りの場であり。何より私たちの遊び場でした》

カトリック信徒の片岡さんにとって、浦上天主堂は信徒の中心地であり、魂のよりどころだという。

生まれてすぐに洗礼を受け、日曜日には必ずミサへ。平日の放課後は週2回、カトリックの教え「公教要理」を勉強した。

原爆投下後はコンクリートの天井や外壁が残っていた浦上第一病院（現在の聖フランシスコ病院）の修道士食堂がチャペルになり、ミサも行われるようになった。そこで片岡さんはミサの奉仕者を務めるようになった。チャペルの隣の図書室で、結婚式も行われていたという。

1946年12月には浦上天主堂の仮聖堂が完成。そこで聖歌の練習もした。

6年生のとき、修道士に神学校への進学を勧められた。中学1年生のときに福岡の神学校への進学が決まり、初めて親元を離れて博多へ向かった。

《もし原爆が落ちていなかったら、司祭になっていなかったかもわかりませんね》

片岡さんは取材に、そう漏らしたことがある。「もし原爆がなかったら、もし天主堂が壊れていなかったら、たくさん信徒がいる中で私は神学校を勧められなかったかもしれません」。司祭への道を勧めてくれたことを感謝しているという。

中高6年間の小神学校生活では毎日、ラテン語を勉強した。卒業後は2年間、修道院で過ごし、従順（目上に従う）・清貧（ぜいたくをしない）・貞潔（結婚しない）の三つの誓願を立てた。その後、東京の大神学校へ進み、哲学と神学を7年間住み込みで学んだ。

1962年、26歳で司祭になった片岡さんは、両親に十字架の印をきって最初の祝福を与えたときをこう振り返る。「両親にとっては最高の喜びであり、最高の心配だったと思います」。わが子が司祭になったうれしさと同時に、最後まで務められるのかという不安を痛いほど感じたという。

《黄色い花だけでは、美しくないんです》

修道院の外に咲く花の群れを指し、片岡さんは話した。

「平和とは何か」という私の問いに対する答えの一つだった。「黒人、白人、黄色人種、赤ちゃん、大人……。世界には色々な個性があり、多様性がある。だから美しいんです」

片岡さんは「平和運動」という言葉を好まない。「『運動』をすると、必ず何かにつづかってしまうでしょう」。世の中には、必ずと言っていいほど意見の相違や対立がある。それでも、自分たちと違う考え方も受け入れなければ平和は訪れない。片岡さんはそう考えている。

積極的には自身の被爆体験を語らない片岡さん。司祭として、皆が心の安らぎを得る助けをすることが役割だという。「私の言う平和は、戦争のない世界という意味ではあり

ません。平和とは、皆が安らかに生きることです」。そう言ったあとにこう続けた。「無理かもしれないけど、願っています」（田中瞳子・25歳）

“死の鉄道”旧日本軍建設から75年 動員で死亡の捕虜ら追悼

NHK2018年10月18日 8時21分



第2次世界大戦中に旧日本軍がタイとビルマ、現在のミャンマーとを結ぶ泰緬鉄道を建設してから、ことしで75年を迎え、過酷な鉄道建設工事に動員されて命を落とした連合国軍の捕虜らを追悼する式典がタイ西部で開かれました。旧日本軍による泰緬鉄道の建設工事には、イギリスなど連合国軍の捕虜や東南アジアからの労働者合わせて20万人以上が動員されました。

鉄道は1943年に完成しましたが、過酷な突貫工事や伝染病などによって命を落とした人は捕虜でおよそ1万3000人、労働者は少なくとも数万人とされ「死の鉄道」とも呼ばれています。

17日は建設から75年という節目に合わせて、追悼式典が連合国軍の墓地があるタイ西部で開かれ、日本は参列しませんでした。泰緬鉄道と関わりがある国々の代表らおよそ100人が参列しました。

式典では、イギリス王室のメンバーが「多くの捕虜が栄養失調や病気などで命を落とし、線路沿いに埋められた」などと述べたあと、黙とうと献花が行われました。

式典の主催者で墓地を管理する国際組織は「悲惨な歴史を繰り返さないため、将来の世代に伝えていく必要がある。この墓地は戦争のコストを気付かせるものだ」と話しています。

泰緬鉄道をめぐっては、タイ政府や地元の県が世界遺産への登録を目指していますが、国民の一部からは「死の鉄道」という名称で登録を目指すべきだという意見も出ています。

サウジの調査「さらに数日」＝記者殺害疑惑で米長官

【ワシントン時事】ポンペオ米 국무長官は18日、サウジアラビア人記者がトルコにあるサウジ総領事館で殺害された疑惑について、サウジ側にさらに数日間の調査を認めるようトランプ大統領に進言したことを明らかにした。米国は、調査結果を受け、疑惑への対応を決める方針だ。

ポンペオ氏は、サウジ、トルコを歴訪し、両国首脳と疑惑をめぐり会談した結果をホワイトハウスでトランプ氏に

報告。ポンペオ氏はその後、記者団に「サウジは完全に徹底的な調査を行うと確約した」と強調した。さらにサウジ、トルコ双方の取り組みで真相が明らかになるだろうと指摘した。（時事通信 2018/10/19-01:01）

記者殺害疑惑、サウジ皇太子関与説強まる＝「改革者」の強権に懸念も



サウジアラビアのムハンマド皇太子＝6月6日にサウジ王室提供、ジッダ（AFP時事）

【カイロ時事】サウジアラビア人記者のジャマル・カシヨギ氏がトルコにあるサウジ総領事館で殺害された疑惑で、サウジのムハンマド皇太子（33）の濃厚な関与を疑わせる情報が次々と浮上している。「次期国王」の威信が失墜すれば、対外的な印象悪化に加え、国内の反発から権力闘争も再燃しかねない。皇太子は関与を強く否定。サウジ側も王位継承者の保身に必死だが、疑惑の払拭（ふっしょく）は日増しに難しくなっている。

高齢のサルマン国王（82）に代わりほぼ全権を掌握する皇太子は、カシヨギ氏の拘束指示や、尋問も承認したと伝えられている。米メディアは、殺害に関与したとされるサウジ国籍15人のうち、複数が外遊の同行や護衛などで皇太子と深くつながっていると指摘。皇太子と同時に写った写真も出回っている。

ムハンマド皇太子は、自由が制限されてきたサウジ社会と経済の規制緩和を推進。女性の運転解禁など長年のタブーに切り込み、一時は「改革者」と称賛された。国民の多数を占める若者らの支持は厚い。

ただ、一段の自由化を求める活動家には厳しく対処し、相次いで拘束。汚職摘発を名目に王族や大物実業家らも容赦なく弾圧し、「政敵排除」も辞さない強権手法が懸念を招いた。頑固で衝動的な性格といわれ、「荒れ狂う雄牛」ともやゆされる。（時事通信 2018/10/18-22:00）

サウジ皇太子関与説に傾く 記者不明で米情報機関

共同通信 018/10/18 18:32/10/18 18:33update

【ワシントン、イスタンブール共同】サウジアラビア政府を批判してきた米国在住のサウジ人著名記者がトルコで行方不明になった事件で、米紙ニューヨーク・タイムズ電子版は17日、米情報機関がサウジのムハンマド・ビン・サルマン皇太子が事件に関与した可能性が高いとの確信を強めていると報じた。

皇太子の関与が決定的になれば国際社会の非難が集中するのは必至。トランプ政権は敵対するイランに対抗するためサウジとの関係強化を図ってきただけに、難しい差配が求められそうだ。

トルコのギョル法相は18日、事件の捜査結果が近く明らかになるとの見通しを示した。アナトリア通信が伝えた。

サウジ総領事館を再捜索＝トルコ



18日、トルコ・イスタンブールで、サウジアラビア総領事館を捜索したトルコ当局者ら（AFP時事）

【エルサレム時事】トルコ捜査当局は18日、サウジアラビア人記者ジャマル・カショギ氏の殺害疑惑をめぐり、イスタンブールの総領事館で捜索を行った。アナトリア通信などが伝えた。総領事館での捜索は15～16日に行われて以来2度目。

同当局は、カショギ氏が総領事館で殺害された際の録音などを入手しているとされ、17～18日、総領事公邸にも捜査員を派遣して証拠物の収集に努めた。一連の捜索はサウジの協力の下で実施された。（時事通信 2018/10/18-18:10）

米紙、不明記者「最後のコラム」掲載＝アラブ世界の表現の自由訴え

【ワシントン時事】米紙ワシントン・ポスト（電子版）は17日、トルコにあるサウジアラビア総領事館を訪れた後、行方不明になったサウジ人の著名記者ジャマル・カショギ氏のコラムを掲載した。カショギ氏は、総領事館内で殺害された疑いが強まっており、同紙はカショギ氏の「最後の記事になる」としている。

ポスト紙の編集担当者は、カショギ氏が2日に失踪した後、同氏の助手を通じて原稿を受け取った。同氏が無事に戻ることを信じて、掲載を見合わせていたが、「それは実現しないと受け入れる必要がある」と判断した。

カショギ氏は「アラブ世界に最も必要なのは表現の自由」と題したコラムで、大半のアラブ諸国では「地域や日々の暮らしにとって重要な事柄を公に議論することさえまならない」現状を指摘。その上で、国家主義的な各国政府から独立した国際的な言論空間をつくり出すことで、アラブ社会が直面する構造的な問題を普通の市民が議論できるようになると訴えた。（時事通信 2018/10/18-16:18）

失跡記者「最後のコラム」を掲載 米紙ワシントン・ポスト電子版

共同通信 2018/10/18 18:37



ジャマル・カショギ氏＝2015年2月、バーレーン・マナマ（AP＝共同）

【ワシントン共同】米紙ワシントン・ポスト電子版は17日、トルコで失跡したサウジアラビア人記者ジャマル・カショギ氏がアラブ世界の報道の自由を訴える「最後の」コラムを掲載した。失跡が伝えられた翌日にコラムを受け取り、扱いを留保していたが、もはや帰ってこないことを「受け入れざるを得ない」と判断し掲載したという。

「アラブ世界が最も必要としているのは表現の自由」と題するコラムでカショギ氏は、大部分のアラブ諸国には報道の自由がなく「悲しいことにこうした状況は変わりそうにない」と指摘。「アラブ諸国の政府はインターネットを遮断し、地元の記者を逮捕している」と糾弾した。

サウジアラビア人ジャーナリスト「最後の論評」米紙が掲載

NHK10月18日 16時58分



アメリカの有力紙は、サウジアラビア政府を批判し、殺害されたのではないかという見方が広がっているサウジアラビア人ジャーナリストのジャマル・カショギ氏が最後に執筆したとする論評を掲載しました。カショギ氏はこの中で、アラブ世界の多くの国の政府が表現の自由を抑圧していると危機感を募らせています。

アメリカの有力紙ワシントン・ポストの電子版は17日、サウジアラビア人ジャーナリストのジャマル・カショギ氏が今月2日に行方がわからなくなる直前に執筆したとする論評を掲載しました。

「アラブ世界に必要なのは何よりも表現の自由だ」と題された論評で、カショギ氏は、アラブ世界の多くの国々で市民が日々の暮らしに関わることさえ、公に議論することができないと嘆いています。

そして、サウジアラビアの友人で著名な記者が5年間、服

役させられるなど各国政府が不当に記者を拘束したり、インターネットを遮断したりして表現の自由を抑圧していると指摘し、危機感を募らせています。

カショギ氏はワシントン・ポストに定期的に寄稿し、サウジアラビアでは異例の政府批判を行っていて、トルコにあるサウジアラビア総領事館で殺害されたのではないかという見方が広がっています。

論評を掲載した編集者は、カショギ氏の行方がわからなくなったあと、助手から草稿を受け取ったものの掲載を見合わせていたということです。編集者は「カショギ氏は戻ってこないのだと認めなければならない。彼の最後の執筆で、自由への情熱がこめられている」と、掲載した理由を記しています。



アメリカの有力紙ワシントン・ポストの電子版は 17 日、サウジアラビア人ジャーナリストのジャマル・カショギ氏が今月 2 日に行方がわからなくなる直前に執筆したとする論評を掲載しました。

「アラブ世界に必要なのは何よりも表現の自由だ」と題された論評で、カショギ氏は、アラブ世界の多くの国々で市民が日々の暮らしに関わることさえ、公に議論することができないと嘆いています。

そして、サウジアラビアの友人で著名な記者が 5 年間、服役させられるなど各国政府が不当に記者を拘束したり、インターネットを遮断したりして表現の自由を抑圧していると指摘し、危機感を募らせています。

カショギ氏はワシントン・ポストに定期的に寄稿し、サウジアラビアでは異例の政府批判を行っていて、トルコにあるサウジアラビア総領事館で殺害されたのではないかという見方が広がっています。

論評を掲載した編集者は、カショギ氏の行方がわからなくなったあと、助手から草稿を受け取ったものの掲載を見合わせていたということです。編集者は「カショギ氏は戻ってこないのだと認めなければならない。彼の最後の執筆で、自由への情熱がこめられている」と、掲載した理由を記しています。

サウジ皇太子、容疑者と関係か＝トルコ当局が総領事邸捜索－記者殺害疑惑

【エルサレム時事】サウジアラビア人記者のジャマル・カショギ氏がトルコ・イスタンブールのサウジ総領事館で殺害された疑惑で、米紙ニューヨーク・タイムズは 17 日までに、複数の容疑者がサウジのムハンマド皇太子とつな

がりがあると報じた。皇太子は関与を否定しているものの、事情を把握していた疑いが一段と強まった。



17 日、トルコ・イスタンブールのサウジアラビア総領事公邸に到着したトルコ捜査当局者ら（EPA時事）

トルコ捜査当局は 17 日、サウジの協力を得て、サウジ総領事公邸の捜索を行った。16 日にトルコから出国したサウジのオタイビ駐イスタンブール総領事をめぐっては、殺害現場に居合わせた疑いがもたれている。同当局は 15 日から 16 日にかけて、総領事館内の捜索を実施していた。

捜査当局は、カショギ氏が総領事館に入ったまま行方が分からなくなった 2 日、総領事館を訪れ、直後に出国したサウジ国籍の 15 人を容疑者とみている。

タイムズによると、15 人のうち 1 人がムハンマド皇太子の外遊などに頻繁に同行。ほかの 3 人も皇太子の警護に当たっていたことが目撃情報や記録から判明した。また、別の 1 人はサウジ内務省の法医学者で、サウジ政権の高いレベルから指示を受ける立場にあるという。（時事通信 2018/10/18-00:21）

殺害疑惑 “サウジの捜査 数日間見守り判断” 米務長官 NHK2018 年 10 月 19 日 4 時 45 分

サウジアラビア人ジャーナリストが殺害されたのではないかという疑惑をめぐり、アメリカのポンペイオ務長官は、サウジアラビアなどを訪問した結果をトランプ大統領に報告し、サウジアラビアによる捜査を今後、数日間見守ったうえで対応を判断する考えを示しました。

トルコのイスタンブールにあるサウジアラビア総領事館を訪れたジャーナリストのジャマル・カショギ氏が館内で殺害されたのではないかという疑惑をめぐり、アメリカのポンペイオ務長官は今週、サウジアラビアとトルコを相次いで訪問し、サウジアラビアでは疑惑への関与が指摘されているムハンマド皇太子と会談しました。

ポンペイオ長官は帰国後の 18 日、ホワイトハウスでトランプ大統領に訪問の結果を報告し、対応を協議したあと、記者団の取材に応じました。

このなかでポンペイオ長官は、サウジアラビア政府が行う捜査を今後、数日間、見守ったうえで事実関係を把握し、アメリカ政府として対応を判断すべきだという考えを大統

領に伝えたことを明らかにしました。

一方で、ポンペイオ長官はサウジアラビアについて「テロ対策のパートナーであり、2つの聖地を擁する重要な戦略的同盟国だ」とも強調しました。

トランプ政権は、疑惑をめぐって徹底した捜査を求める一方で、中東の重要な同盟国であるサウジアラビアが孤立をさらに深める事態は避けたいというジレンマのなかで難しい対応を迫られています。

米財務長官「砂漠のダボス会議」欠席へ

サウジアラビア人ジャーナリストが殺害されたのではないかという疑惑が国際問題にも発展するなか、アメリカのムニューシン財務長官は、来週、サウジアラビアで開かれる予定の経済フォーラムへの出席を見送ることを明らかにしました。

「砂漠のダボス会議」とも呼ばれるこの経済フォーラムは、ムハンマド皇太子が主催するもので今年 23 日からサウジアラビアの首都リヤドで開かれることになっています。

これについて、ムニューシン財務長官は 18 日、ツイッターに「トランプ大統領とポンペイオ国務長官に会い、サウジアラビアで行われる経済フォーラムに出席しないことを決めた」と投稿しました。

出席を見送った理由については明らかにしていませんが、ムハンマド皇太子は、疑惑への関与が指摘されており、IMF＝国際通貨基金のラガルド専務理事や欧米の複数の金融機関の幹部らが経済フォーラムへの出席を取りやめるなどサウジアラビアへの反発が広がっていることを受けての判断だと見られます。

石油連盟会長 サウジのジャーナリスト殺害疑惑の影響など注視

NHK2018年10月18日 16時49分

石油元売り各社でつくる石油連盟の月岡会長は、原油価格のさらなる値上がりは世界経済への影響が大きいと指摘したうえで、サウジアラビア人のジャーナリストの殺害疑惑をめぐりアメリカの対応などを注意深く見守りたいという考えを示しました。

石油連盟の月岡会長は 18 日の記者会見で、ことしの夏から高値が続く国際的な原油価格について、「世界経済が影響を吸収できるレベルなのかどうか、危険水域に来ている。これ以上の値上がりは需要への影響が大きい」と述べ、さらなる価格の上昇は需要の減少につながるなど世界経済への影響が大きいという見方を示しました。

また、サウジアラビア人のジャーナリスト殺害疑惑が原油価格に与える影響について、月岡会長は「来月は、イランへの経済制裁やアメリカの中間選挙などの政治的イベントが重なるため、これらを見極めながら原油価格の動向を注視しなければならない」と述べ、アメリカのトランプ政権の対応などを注意深く見守りたい考えを示しました。

全国のレギュラーガソリンの平均小売価格は、原油価格の上昇の影響で7週連続で値上がりし、1リットル当たり159.6円と、3年11か月ぶりの高値の水準となっています。

豊洲市場 開場1週間 渋滞は徐々に解消も照明などに課題

NHK10月18日 16時21分



東京の豊洲市場が開場して18日で1週間がたちました。開場当初に課題となった渋滞は徐々に解消されていますが、卸売場の照明や建物内部の温度管理の面などで課題も出てきています。

東京・江東区にある豊洲市場は、旧築地市場に代わる卸売市場として今年11日に開場しました。

開場から1週間たった18日朝もマグロの競りなどの取り引きが通常どおり行われていました。

開場当初は、業者の車両による渋滞などで、これまでより仕入れの時間がかかるという声が多くなりましたが、業者の人たちが新しい市場に慣れてきたこともあって渋滞は徐々に緩和し、18日朝は、目立った渋滞は見られませんでした。一方、業者の間からは、「マグロの卸売場で照明の明るさが築地市場の時と変わり、マグロの品質を見分けにくい」という設備の改善を求める声も出されています。

また、豊洲市場では、室内の温度を一定にして鮮度を保つため、商品を出し入れする出入りに開け閉めを自動で行うシャッターや、上から空気を流すことで温度の高い外気が入らないようにする「エアカーテン」など最新の設備を設置しています。

しかし、一部の出入り口では、業者が荷物を置きっ放しにしているため、シャッターが長時間、開いたままになっているほか、建物の中ではなく、外で荷さばきする業者もいて、せつかくの設備がいかされていないという声もあります。

鮮魚などを取り扱う水産仲卸業者「亀谷」の亀谷直秀社長は、「夏場のことを考えると冷気を逃さないような施設の運用を、業界全体で考えていかなければならない」と話していました。



東京・江東区にある豊洲市場は、旧築地市場に代わる卸売市場として今年 11 日に開場しました。

開場から 1 週間たった 18 日朝もマグロの競りなどの取り引きが通常どおり行われていました。

開場当初は、業者の車両による渋滞などで、これまでより仕入れの時間がかかるという声が出ましたが、業者の人たちが新しい市場に慣れてきたこともあって渋滞は徐々に緩和し、18 日朝は、目立った渋滞は見られませんでした。一方、業者の間からは、「マグロの卸売場で照明の明るさが築地市場の時と変わり、マグロの品質を見分けにくい」などという設備の改善を求める声も出されています。

また、豊洲市場では、室内の温度を一定にして鮮度を保つため、商品を出し入れする出入りに開け閉めを自動で行うシャッターや、上から空気を流すことで温度の高い外気が入らないようにする「エアカーテン」など最新の設備を設置しています。

しかし、一部の出入り口では、業者が荷物を置きっ放しにしているため、シャッターが長時間、開いたままになっているほか、建物の中ではなく、外で荷さばきする業者もいて、せつかくの設備がいかされていないという声もあります。

鮮魚などを取り扱う水産仲卸業者「亀谷」の亀谷直秀社長は、「夏場のことを考えると冷気を逃さないような施設の運用を、業界全体で考えていかなければならない」と話していました。

豊洲市場 開場から 1 週間 旧築地市場ではトラブル

NHK10 月 18 日 17 時 49 分



17 日夜、閉鎖された東京・中央区の旧築地市場では、移転に反対し営業の継続を求めている業者や支援者が、東京都が立ち入りを禁止する中で、一時、敷地の中に入る事態が起きました。これについて、小池知事は、「警察とも連携しながらしっかりと対応していかなければならない」と述べました。

豊洲市場への移転に伴い、旧築地市場は 17 日午後 8 時に閉鎖され、工事関係者を除いて敷地への立ち入りができなくなっています。

ところが、18 日午前、閉鎖された正門の前に豊洲市場への移転に反対する一部の業者や支援者が集まり、営業の継続を求めて敷地に入ろうとしました。

これに対し、東京都の担当者は旧築地市場はすでに閉場しているため営業を行うことはできず、立ち入ることは違法

な行為だとして押し問答となりました。

その後、集まった人たちは午前 11 時ごろに都が立ち入りを禁止する中で、青果門の近くにある工事用の出入り口から敷地に入りました。

都によりますと、およそ 100 人が午後 2 時までの 3 時間にわたって敷地の中に滞在しましたが、現在は、全員が敷地の外に出ているということです。

都は、19 日以降の警備態勢の強化も検討しているということです。

東京都の小池知事は都庁で記者団に対し、「旧築地市場は法令上も閉鎖した状況にあり、敷地内での営業には法的にも問題がある。警察とも連携しながらしっかりと対応していかなければならない」と述べました。